

2. 指標設定

成果指標	指標名	スポーツ施設の適切な維持管理	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値				スポーツ振興を図るためスポーツ施設を適切に維持管理していく必要がある			
活動指標	指標	a スポーツ施設の維持管理	b	スポーツ施設の利用者数	c		d	
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
スポーツ施設の適切な維持管理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a スポーツ施設の維持管理		—	—	—
b スポーツ施設の利用者数	人	249,537	202,779	245,008
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
スポーツ施設の老朽化により維持補修費が増大の一途をたどっている
対応（改善点等）
スポーツ施設の維持補修を適宜行いながら、公共施設の見直しに関する第3次公表の方針に沿った対応を図る

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

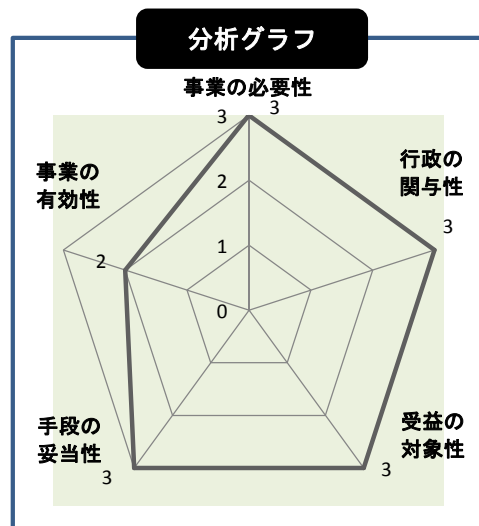
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		98,440	113,463	95,329	92,880
うち経常経費		80,820	79,897	79,546	87,676
財源内訳	国費	8,600	22,500		
	県費				
	市債				
	その他	6,156	4,563	10,788	5,304
	一般財源	83,684	86,400	84,541	87,576
うち経常		74,664	75,334	74,757	82,372
事業費に係る人件費		10,730	22,360	27,910	30,512
事業費に係る人役		2.45	5.20	6.50	7.00

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
各スポーツ施設の老朽化により維持費が増大している。公共施設の見直しによる方針を基に施設の維持管理を行う

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠	
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	スポーツ施設の維持管理及び安全な施設運営を行うため必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	利用者の安全確保のため行政の責任を持った維持管理が必要である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	市内全地域で幅広い年齢層の市民が利用する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	市民利用も多く、有効かつ適切に利用されている
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	公共施設見直しにより統廃合の検討と指定管理の導入が不十分であった



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応し、公共施設の見直し方針に則り業務を進めるとともに、個別進捗状況の整理を行うこと。